CHASEBLISS
AUDIO

BROTHERS

取扱説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

ブースト、ドライブ、ファズ。組み合わせは自由自在。

Resonant Electronic Design との共同開発により、Brothers は誕生しました。2 つの独立した JFET / IC アナログチャンネルを使用し、6 種類のユニークなブースト、ドライブ、ファズ回路を小さなエンクロージャーに収めています。Brothers は 6 種類の回路を直列/パラレルミックスで出力し、33 種類ものトーンを出力することが出来ます。他の Chase Bliss Audio のペダルと同様、全ての設定はプリセットに保存して簡単に呼び出すことが出来ます。MIDI を使用して更に操作性を拡張することも可能です。全てのノブとスイッチは小さなデジタルブレインに接続されていますが、ギターのシグナルはデジタル処理されることなく、100%アナログのまま出力されます。エフェクトコントロールをデジタル制御することで、今までのアナログタイプのエフェクターでは不可能だった新感覚のトーン/コントロールを実現しています。

MASTER

ペダルのマスターボリュームを設定します。これは使用しているチャンネル（チャンネル A,B,または両方）にかかわらず全体の音量を調整します。

GAIN A

A チャンネルのゲインを設定します。A チャンネルは Boost/Drive/Fuzz を選択できます。選択するエフェクトにより、それぞれのスウィートスポットに合わせたカーブで調整ができます。

TONE A

A チャンネルのトーンを調整します。選択するエフェクトにより、それぞれ音楽的で実用的なカーブで調整ができます。チャンネル A のトーンコントロールは、音色の透明感を操作するようなイメージです。

GAIN B

B チャンネルのゲインを設定します。A チャンネルと同様、B チャンネルも Boost/Drive/Fuzz を選択できます。選択するエフェクトにより、それぞれのスウィートスポットに合わせたカーブで調整ができます。

TONE B

B チャンネルのトーンを調整します。選択するエフェクトにより、それぞれ音楽的で実用的なカーブで調整ができます。チャンネル B のトーンコントロールは、ミッドレンジの厚さをを操作するようなイメージです。

MIX / STACK

このノブはチャンネル A と B の両方がオンのときに使用します。PARA, A>>B, または B>>A の設定により 2 つの働きをします。

トグルスイッチが PARA モードのときは、このノブはパラレルで出力されている 2 つのチャンネルのミックスレベルを調節します。ノブが左に 100%回し切られていると、チャンネル A のみ出力します。右に回しきるとチャンネル B のみの出力になります。ノブが 12 時方向で、それぞれのチャンネルが 50:50 でミックスされます。A>>B, または B>>A にトグルスイッチが設定されていると、それぞれ A から B チャンネル、または B チャンネルから A チャンネルの直列の接続となります。直列接続のとき、このノブは STACK コントロールになり、A と B チャンネルの音量バランスを設定します。例えば、前段チャンネルがどれだけ後段をプッシュするかなどの調整が出来ます。

PARA、A>>B、B>>A トグルスイッチ

このトグルスイッチはチャンネル A と B の両方がオンのときに使用します。PARA は 2 つのチャンネルをパラレルで出力、その他 2 つの設定は 2 つのチェンネルを直列で接続します。A>>B は A から B へ直列、B>>A は B から A へ直列で接続になります。

Boost, Drive, Fuzz トグルスイッチ

このトグルスイッチでそれぞれのチャンネルのエフェクトタイプを選択します。チャンネル A は Resonant Electronic Design との共同開発、チャンネル B は Chase Bliss Audio のオリジナル回路です。

A&B BYPASS スイッチ

このスイッチでペダルのオンオフを切り替えます。ペダルの背面の dip スイッチでモーメンタリーバイパス（スイッチを押している間だけエフェクトをオン）に設定することも出来ます。

また dip スイッチでリレーを使ったトゥルーバイパスと、ペダルオフ時もバッファーを通るバッファードバイパスも切り替えられます。

下のトグルスイッチ（プリセットスイッチ）

一番下にあるスイッチはプリセットの呼び出しに使用します。右側のポジションでプリセット#1、左側でプリセット#2 を呼び出します。真ん中のポジションは常に現在のノブ、トグルスイッチ、dip スイッチの設定を呼び出します。トグルスイッチ右側のポジションに現在の設定をプリセットとして保存するには、まず右側のフットスイッチ (B)を 3 秒長押しし、そのまま B を押しながら A のスイッチも同時に 3 秒押します。LED が点滅し、設定がプリセットに保存されます。トグルスイッチ左側のポジションにプリセットを保存したい場合は、左のフットスイッチの長押しから始めて同じ動作をします。プリセットを呼び出している状態でノブを動かしたりして設定を変更すると、プリセットスイッチ上の LED が暗くなります。これは元々のプリセット設定から何かが変更になったことを表します。この変更をプリセットに反映したい場合は、再度設定をプリセットに保存する必要があります。

IN / OUT

1/4”モノインプットジャックです。

EXP / CV

エクスプレッションペダルを接続する 1/4" TRS ジャックです。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは、背面の dip スイッチで選択できます。tip はワイパーに接続して下さい。弊社では Roland EV-5 にて動作確認をしています。スタンダートなエクスプレッションペダルがご利用いただけますが、ご不明点があればお問い合わせ下さい。

0-5 の CV（コントロールボルテージ）を受けることも出来ます。その場合リングがフローティングされるようにして下さい。

EXT（A) / MIDI

外部フットスイッチを接続できます。ノーマリーオープン/モメンタリースイッチを接続すると、A チャンネルのオンオフを操作することが出来ます。Chase Bliss MIDIBOX, または Empress Effects MIDIBOX を使用すると、MIDI クロックでペダルをコントロールすることが出来ます。MIDI については巻末の項目を御覧ください。

電源について

消費電力 60mA、2.1mm 9VDC センターマイナスのパワーサプライで動作します。9V 電池での駆動も可能ですが、消費電力が高いため電池残量には注意して下さい。

EXP / CV コントロールと dip スイッチ

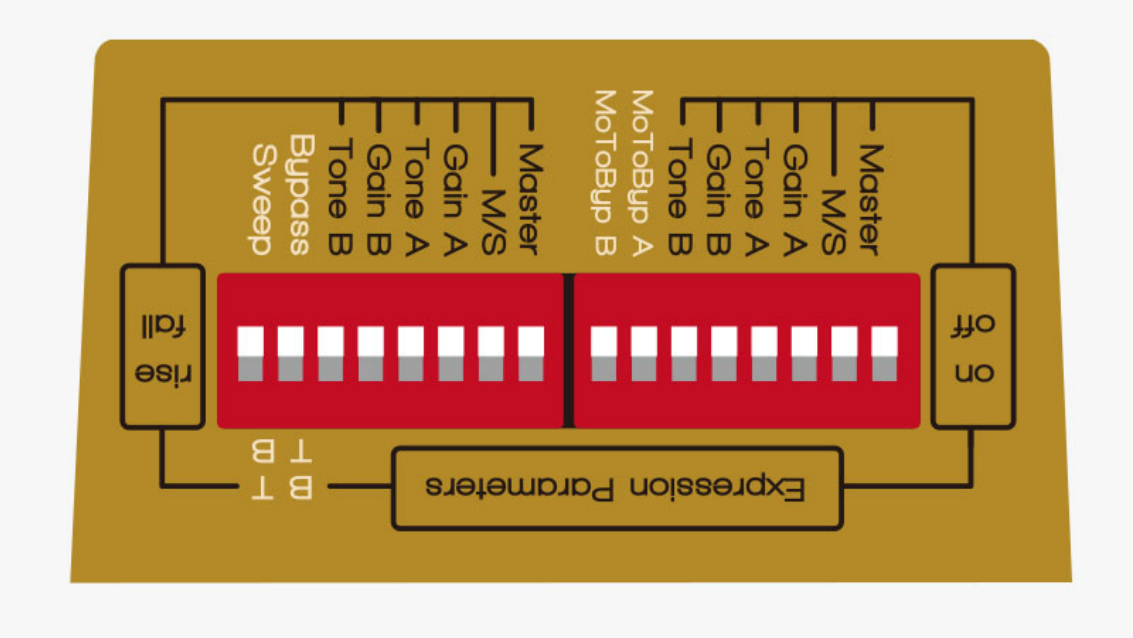
「on, off」側にある Master, M/S, Gain A, Gain B, Tone A, Tone B の dip スイッチで、エクスプレッションペダル/CV でコントロールするパラメーターを割り当てができます。一つだけでも、複数同時でも操作できます。

エクスプレッション/CV のコントロールレンジの調節

エクスプレッションペダルと CV のコントロール幅はノブのポジションと、Sweep dip スイッチで決定します。例えばエクスプレッションペダルにマスターボリュームを割り当てて、ゼロからユニティゲインまでコントロールしたいとき、まずは Sweep を B（Bottom）ポジションにセットします。その後ボリュームノブをユニティゲインに合わせると、エクスプレッションペダルでゼロからノブで設定した値（ユニティゲイン）まで可変できるようになります。調節したいボリューム幅を広げたい場合は、ノブを更に回します。これによりエクスプレッションペダルで可変させる幅を広げることが出来ます。様々なパラメーターを同時に可変させることが出来ますが、それぞれのノブで可変幅は微調整できます。

dip スイッチについて

dip スイッチの設定は最初は難しく複雑に感じると思います。初めてペダルを使用するときは、まずは dip スイッチのことは忘れてプレイしてみて下さい。ベーシックな機能を把握したあと、その後更に必要な機能に合わせて dip スイッチを設定すると、うまくいくと思います。



※プリセットを保存すると、dip スイッチの設定も全て保存されます。

・**「on, off」側の Master, M/S, Gain A, Tone A, Gain B, Tone B :** エクスプレッションペダル/CV での可変するパラメーターの割り当てを決めます。

・**「rise, fall」側の Master, M/S, Gain A, Tone A, Gain B, Tone B :** エクスプレッションペダルでパラメーターを操作するとき、ペダルの踏み込みでノブが右回しになる=rise モード、ペダルの踏み込みでノブが左回しになる＝fall モードを設定します。

・**MoToByp A :** チャンネル A をモーメンタリー（フットスイッチを押している間だけ）でオン、またはバイパスします。A がオンのときにモーメンタリーを有効にすれば、フットスイッチを踏んでいる間だけエフェクトをバイパスします。A がオフのときはフットスイッチを踏んでいる間だけエフェクトをオンにします。

・**MoToByp B :** チャンネル B をモーメンタリー（フットスイッチを押している間だけ）でオン、またはバイパスします。B がオンのときにモーメンタリーを有効にすれば、フットスイッチを踏んでいる間だけエフェクトをバイパスします。B がオフのときはフットスイッチを踏んでいる間だけエフェクトをオンにします。

・**Bypass :** バイパス時のモードを切り替えます。T ではトゥルーバイパス、B はバッファードバイパスになります。

・**Sweep :** エクスプレッションペダルの可変幅を設定するのに使います。

T（Top）ではエクスプレッションペダルの可変幅が現在のノブのポジションから最大値までの間で設定されます。B（Bottom）では可変幅が現在のノブのポジションから最小値の間で設定されます。

サンプル設定

これらのサンプル設定の実際のサウンドは弊社ホームページ、または
soundcloud.com/chaseblissaudio で試聴することができます。

CROW'S NEST

Active Channels A

GAIN THE ROCK JOHNSON

Active Channels A B

ESCALATOR TEMPORARILY STAIRS

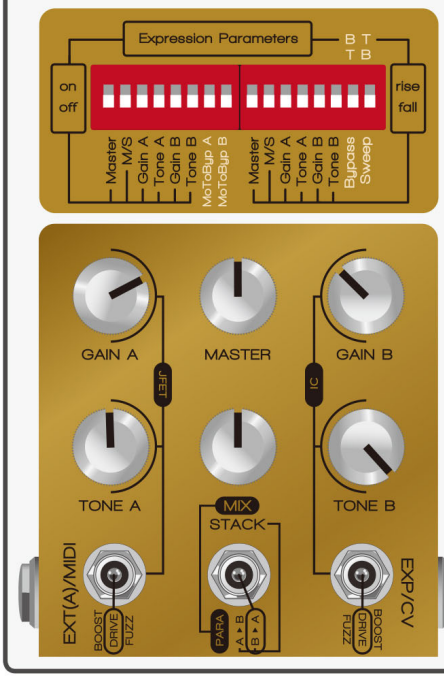
Active Channels A B

MUTINEER

Active Channels A B

OUT YOUR OWN BACKYARD

Active Channels A B



SHOTGUN SHINDIG

Active Channels A B

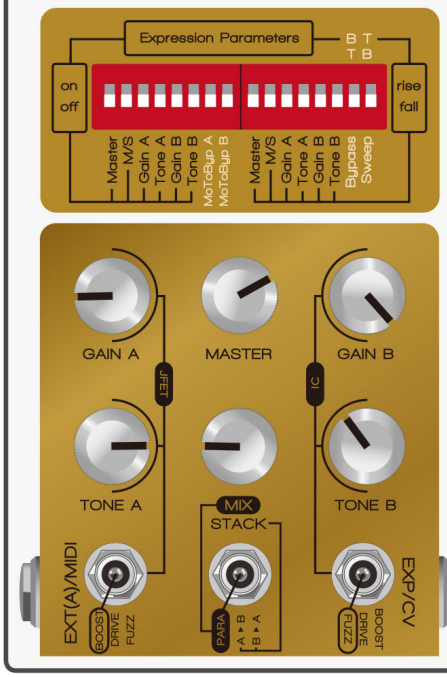
QUANTUM IV

Active Channels A B

▼ Expression Controlled

STATIC ADDICT

Active Channels A B



MIDI について

Brothers は全てのパラメーターを MIDI コントロールメッセージで操作することが出来ます。プリセットの呼び出しと保存も MIDI を介して操作できます。

別売りのFaves MIDIコントローラーを使用すると、6個までのプリセットを保存して呼び出せます。Faves 以外の MIDI コントローラーを使用する際は、以下に従って下さい。

1. Chase Bliss MIDIBOX を用意し、Brothers の TAP/MIDI ジャックと MIDIBOX をスタンダードな 1/4"TRS ケーブルで接続します。Chase Bliss 製以外の MIDIBOX を使用する場合、tip とリングを反転させる改造が必要になる場合があります。詳しくは国内代理店までお問い合わせ下さい。

2.　デフォルトでは Brothers は MIDI チャンネルの 2 に設定されていますが、必要であれば他のチャンネルへ変更できます。変更したい場合、A と B スイッチを長押ししながら電源を入れます。その後設定したい MIDI チャンネルのメッセージを Brothers に送信します。

MIDI を使ったプリセットの呼び出し

MIDI のプログラムチェンジメッセージを送ることでプリセットを呼び出すことが出来ます。例えば、プログラムチェンジメッセージの 1 はプリセット 1 を呼び出します。プリセットスロットは 122 まで使用できます。スロット 1 と 2 はペダルのプリセットトグルスイッチを使って直接保存ができるプリセットと同じものです。スロット 1 が右、スロット 2 が左です。プログラムチェンジメッセージを 0 で送信すると、ペダルを「ライブモード」で呼び出します。プリセットトグルスイッチが真ん中のときと同じ設定です。

MIDI を使ったプリセットの保存

MIDI を介してプリセットを保存するには、本体の TAP と BYPASS スイッチを同時に押しながらプログラムチェンジメッセージを送信します。例えば、両方のスイッチを押しながらプログラムチェンジメッセージの 45 を送信すると、現在の設定がプリセットスロットの 45 に保存されます。本体のトグルスイッチで呼び出せるプリセットは 1 と 2 のみですが、MIDI を使うと 122 までのスロットを使用できます。

コントロールチェンジメッセージ

Brothers は MIDI コントロールチェンジメッセージで操作をすることが出来ます。

パラメーター	CC#	説明
Gain A	14	0 を送信すると、ノブを左に回しきるのと同じになり、127 を送信すると完全に右に回しきりになります。中間の値は全てノブの中間の位置に対応します。
Master	15	
Gain B	16	
Tone A	17	
Mix / Stack	18	
Tone B	19	
Channel A エフェクト選択	21	1 を送信すると Boost, 2 で Drive, 3 で Fuzz を選択します。
PARA, A>>B, B>>A 選択	22	1 を送信すると PARA, 2 で A>>B, 3 で B>>A を選択します。
Channel B エフェクト選択	23	1 を送信すると Boost, 2 で Drive, 3 で Fuzz を選択します。
エクスプレッション	100	0 を送信するとエクスプレッション・ペダルが完全にオフと認識します。127 でペダルを最大まで踏み込んだ状態になります。その間の数値は全てペダルの中間に対応します。エクスプレッションペダルでコントロールするパラメーターは本体の dip スイッチで設定します。
バイパススイッチ	102	127 を送信すると最後に使っていたチャンネルをオンにします。0 で両方のペダルをバイパスします。
バイパススイッチ	103	127 を送信すると両方のチャンネルを ON にします。85 でチャンネル A をオンにし、B はバイパスします。45 でチャンネル B をオンにし、A はパイパスします。0 を送信すると両方のチャンネルをバイパスします。